

第1号議案

2023年度特定非営利活動法人子ども&まちネット事業報告

1. 概要

<この一年>

この一年を振り返った時、2023年の夏は大変な猛暑となり、9月10月になっても暑い日が続きました。秋の運動会シーズンに熱中症が続出するニュースに心が痛みました。2024年元旦には多くの犠牲者を出した能登半島地震が発生し、今もなお本格復旧には至っていません。復旧・復興の長期化にも課題が山積しています。海外に目を向けてみると、武力紛争下で子どもが犠牲になる砲火は激しさを増しており、病院や学校が標的となるような攻撃が続きました。子どもへの重大な権利の侵害が世界各地で起きています。国際社会において、私たち大人は次世代にむけてどのように行動していけばいいのでしょうか。

一方で、ここ数年私たちの生活そのものを脅かしていた新型コロナウィルス感染症は、2023年5月に5類へ移行されました。行動制限が解除され、中止となっていたイベントやスポーツ競技の大きな大会なども再開され始めました。子ども&まちネットでも「ワンストップひろば」の人数制限を解除して実施できるようになりました。しかしながら、引き続き感染対策には留意しながらの事業活動を行ってきました。

そして2023年度は、名古屋市守山区より「子どもがつなげる守山まちづくりプロジェクト」を受託することができ、このプロジェクトの中で2018年以来実に5年ぶりに「子どものまち」を開催する事ができました。

次の一年も引き続き地道な活動を通じて、安心して子どもを育むことのできる社会の実現にむけて邁進してまいりたいと考えます。

<主たる事業（事業詳細は次章で）>

「子どもがつなげる守山まちづくりプロジェクト」は、子ども&まちネットでは初めて名古屋市守山区より受託して、守山区の子どもたちとの「まちづくり」を行いました。地域の魅力を学び、地域の特色を活かした子どものまち「キッズタウンもりやま」を開催しました。子ども&まちネットで「子どものまち」を開催するのは、コロナ前の「なごや☆子どもCity2018」以来です。

「ワンストップひろば事業」は、財団法人麒麟福祉財団より「麒麟・地域のちから応援事業助成」を受け、親子ヨガ・リトミック・親子ピクスを行いました。

<会員の状況>

正会員	個人：32人、団体：2団体	（昨年度個人：35人、団体：2団体）
情報会員	個人：3人、団体：0団体	（昨年度個人：5人、団体：0団体）
賛助会員	個人：10人、団体：2団体	（昨年度個人：9人、団体：2団体）
合計	45人と4団体	（昨年度49人と4団体）

2. 事業の実施に関する事項

[1]「こどもにやさしいまちづくり」のための手法開発と普及、支援政策提言

事業名	子どもがつなげる守山まちづくりプロジェクト
主催	名古屋市守山区委託事業
事業目的	ふるさと学習、体験型イベントの企画・運営及び情報発信を通し、将来を担う子どもたちを発信源として、区民自らが守山区について考え、魅力等を発見する機会を提供することで、さらなる区民相互の交流を促進し、地域への愛着醸成を図る。
実施期間	2023年4月～2024年3月
スタッフ	水野真由美（理事長）・大西宏治（副理事長）・田中弘美（副理事長）・西村健（理事） 横井寿史（理事）・鬼頭弘子（理事）・牛田真登（会員）・阿部聡一郎（会員）
事業内容	<p>・名古屋市守山区からの委託事業。担当課は区政部地域推進室。担当課及び関連する保健センターや講師を務める地域団体と打ち合わせを行いながら事業を進めた。</p> <p>・「ふるさと学」を学ぶことで守山区の理解を深めたうえで体験型イベント（子どものまち）を開催して区民間の相互交流を実現し、地域への愛着を高めた。</p> <p>【実行委員およびサポーターの募集】</p> <p>・「ふるさと学」の受講と体験型イベント（子どものまち）を実行する子どもを実行委員として区内の小学4年生～6年生を対象に募集した。実行委員をサポートするサポーターとして中学生以上の大人を広く募集した。</p> <p>○実行委員募集 募集期間：6月1日～6月30日 対象：守山区内在住、在学の小学4年生～6年生 定員30名</p> <p>○サポーター募集 募集期間：6月1日～6月30日 対象：中学生以上 定員20名 サポーター説明会を7月16日、28日、28日</p> <p>【打合せ】</p> <p>・4月6日 出席：地域力推進室、子ども&まちネット 内容：事業概要、スケジュール確認</p> <p>・6月8日 出席：地域力推進室、ふるさと学講師、子ども&まちネット 内容：事業概要説明、守山区資料説明、志段味古墳群ミュージアム見学</p>

- ・7月21日
出席：地域力推進室、歴史の里マイスターの会、子ども&まちネット
内容：「ふるさと学」講師依頼、内容確認
- ・7月25日
出席：地域力推進室、守山リス研究会、子ども&まちネット
内容：「ふるさと学」講師依頼、内容確認
- ・8月3日
出席：地域力推進室、守山商工会、子ども&まちネット
内容：「ふるさと学」講師依頼、内容確認
- ・9月29日
出席：守山保健センター健康安全課、子ども&まちネット
内容：飲食ブースについての禁止事情、衛生管理について、届け出について
- ・10月10日
出席：地域力推進室、子ども&まちネット
内容：会場打合せ、イベント前日・当日スケジュール、搬出入予定等

【一般参加者募集】

募集期間：10月1日～11月10日

対象：守山区在住・在学の小学生

定員：午前の部、午後の部各70名*

*参加者の募集は50名で行い、応募者多数のため抽選を行った。体調不良等での欠席等考慮して、当選者を80名までとした。

【子ども実行委員会】

公募による24名(26名申し込み後日2名辞退)の実行委員が参加した。公募によるサポーター29名がサポートした。

●第1回実行員会

日時：8月27日(日)14時～17時

会場：守山区役所 4階第4会議室

参加：子ども実行委員：22名、サポーター：14名

内容：ふるさと学1 ～「まち」や守山区について知る～

- ・ワークショップ「仲間づくり」
- ・レクチャー「地域を知る大切さを学ぼう」
- ・講師：東京成徳大学特任教授 寺本潔氏

●第2回実行員会

日時：9月10日(日)14時～17時

会場：守山区役所 4階第2、4会議室

参加：子ども実行委員：22名、サポーター：11名

内容：ふるさと学2 ～守山区で活躍している人の話を聞こう～

- ・レクチャー「守山区について知ろう」
- ・ワークショップ「守山区を自慢しよう」
- ・講師：守山商工会事務局長 佐藤正幸氏
守山リス研究会会長 永田直三氏
歴史の森マイスターの会会長 柿菌良文氏、副会長 森一美氏他

●第3回実行員会

日時：10月1日（日）14時～17時

会場：守山区役所 4階第4会議室

参加：子ども実行委員：17名、サポーター：15名

内容：まちづくり1 ～お仕事について考えよう、お店について考えよう～

- ・「こどものまち」について知ろう
- ・おしごとって何だろう
- ・まちにはどんなお店があるかな？
- ・キッズタウン守山にあったら良いお店を考えよう

●第4回実行員会

日時：10月29日（日）14時～17時

会場：守山区役所 3階講堂

参加：子ども実行委員：20名、サポーター：13名

内容：まちづくり2 ～働くこと・税金について考えよう～

- ・働くってどういうこと？・税金について考えよう
- ・自分のつくりたいお店を考えよう
- ・お店企画シートをつくろう（その1）

●第5回実行員会

日時：11月19日（日）14時～17時

会場：守山区役所 4階第4会議室

参加：子ども実行委員：22名、サポーター：14名

内容：まちづくり3 ～まちづくりで配慮・注意すべきことを考えよう～

- ・低学年や障がいのあるお友達も遊びにくるまち
- ・飲食エリアで注意すること
- ・お店企画シートをつくろう（その2）

●第6回実行員会

日時：12月3日（日）14時～17時

会場：守山区役所 4階第2、4会議室

参加：子ども実行委員：24名、サポーター：17名

内容：まちづくり4 ～「キッズタウンもりやま」のルールやお店の内容を
確認しよう！～

- ・「キッズタウンもりやま」のルールを確認しよう
- ・「キッズタウンもりやま」プレ実践
- ・お店マニュアルと看板のデザイン案をつくろう

●第7回実行員会

日時：12月16日（日）13時～17時

会場：守山区役所 3階講堂

参加：子ども実行委員：23名、サポーター：31名

内容：キッズタウンもりやま前日準備

- ・キッズタウンもりやまの各ブースづくり。

●第8回実行員会

日時：12月17日（日）9時～17時30

会場：守山区役所 3階講堂

参加：子ども実行委員：23名、サポーター：39名

内容：キッズタウンもりやま本番当日

- ・別項記載

*7回実行委員会「キッズタウンもりやま前日準備」と、第8回実行委員会「キッズタウンもりやま本番当日」は新たにサポーター20名が加わり、まちづくりを行った。

●第9回実行員会

日時：1月28日（日）14時～17時

会場：守山区役所 4階第4会議室

参加：子ども実行委員：20名、サポーター：15名

内容：これまでの活動をふりかえろう

- ・ワークショップ「仲間づくり」
- ・レクチャー「地域を知る大切さを学ぼう」
- ・講師：東京成徳大学特任教授 寺本潔氏

【体験型イベント（子どものまち）】

名称：「キッズタウンもりやま」

日時：2023年12月17日（日）

第1部 10:00～13:00

第2部 14:00～17:00

	<p>会場：守山区役所 3 階講堂 参加者数：午前の部 61 名 午後部 66 名</p> <p>お店の展開は公共：3、飲食：4、物販：1、その他：3、アカデミー：1 * その他の3店舗は「すてっぷ」による参加者へのサポートセンター、投票所、資材置き場。いずれも雇用、消費は発生しない。 * アカデミーは株式会社東海維持管理工業によるパネルシアターやクイズ大会。 * 3階の会場のほかに、サポーター控室、保護者控室、看護師を配置した保健室を設置。</p> <p>【発信】 プロジェクト専用の web サイト及び、X（旧 Twitter）・Instagram アカウントを立ち上げ、守山の魅力や事業の進捗を発信・拡散した。</p>
成果	<p>・実行委員の子どもたちが、地域を知る機会を創出することができた。事業終了時の感想に「守山について知らない人たちに魅力を伝えたいと思いました」「次に参加する時には、(実行委員が)初めての子にこのプロジェクトがとても面白いことを教えてあげたい」という感想を得ることができた。</p> <p>・「キッズタウンもりやま」参加児童の保護者アンケートにおいても、半数以上の保護者が「家族の話題になった」と回答し、また半数近くの保護者が「“キッズタウンもりやま”の経験を通じて守山区への興味・関心が深まった」と回答した。</p>
課題	<p>実行委員の子どもたちに「地域」を意識させることの難しさを痛感した。子ども(小学生)にとっての「地域感」については課題が残った。</p> <p>実行委員の子どもたちは、半年間でそれぞれに成長が見られたが、委託事業であるが故に継続して参加する子どもの成長を追うことが難しい。</p>

その他 各種委員会出席等

- 委員： 名古屋市地域公共交通協議会委員（横井寿史 理事）
愛知県かがやけ☆あいちサスティナ研究所ファシリテーター（水野真由美 理事長）
愛知学院大学経営学部企業経営持論Bエリアリサーチ講師（水野真由美 同）
ユースワーカー協議会ユースワーカー養成講習会講師（白川陽一 会員）

[2]子ども・子育て・まちづくりに関する情報収集と発信事業

事業名	こまち通信、会員 ML（メーリングリスト）運営、サイト運営、Facebook、Instagram 等 SNS 運営
自主事業	
事業目的	子まち会員内外への情報提供。会員相互の交流も兼ねる。
実施期間	サイト管理（外部委託）、Facebook 等 SNS 管理：通年 「こまち通信」43号：2024年2月
担当	こまち通信：原稿作成…各事業担当、デザイン・レイアウト（外部委託） 会員 ML：水野真由美（理事長）、西村健（理事）、牛田真登（学生会員） 公式 Web サイト：運営管理…水野真由美（同）、更新・メンテナンス（外部委託） Facebook 等 SNS 管理：西村健（同）、水野真由美（同） ワンストップひろば専用 Instagram 水野真由美（同）戸谷令子（会員）、 ワンストップひろば専用公式 LINE 水野真由美（同）、牛田真登（同）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> こまち通信・ML とも事業の告知・報告をはじめ、会員内外に知らせたい内容などを掲載。ML は会員同士の情報交流を目指すも、事務局からの配信を年間で 10 回程度行うにとどまった。 こまち通信 43号：子どもがつなげる守山まちづくりプロジェクト業報告、ほうかご子まち事業報告等 Facebook 等 SNS では、日常の事業案内や結果報告を発信
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> こまち通信の発行が、年間で 1 回のみでの発行となってしまった。発行時期を設定した定期発行に戻すことも、制作役割分担を含め引き続き検討が必要。 会員 ML の定期配信など、会員相互の交流の場づくりには、引き続き工夫が必要。 SNS の利活用についても、各事業のターゲット層を狙った発信・拡散に工夫が必要。

[3]子ども・子育て・まちづくりに関わる人々のネットワークづくり、コーディネート事業

事業名	ワンストップひろば「小さい子どものセンスオブワンダー」
<ul style="list-style-type: none"> 自主事業（通年） キリン・地域のちから応援事業（2023年4月～2024年3月） 	
事業目的	乳幼児期の子育ての不安の解消、仲間づくりなどを手伝い、子育て情報を伝える。また保護者同士の仲間作りをサポートする。
実施期間	●自主事業 期間：2023年5月1日～2024年4月30日

	<ul style="list-style-type: none"> ・自由あそび、親子ヨガ ●キリン・地域のちから応援事業 期間：2023年4月1日～2024年3月31日 ・親子ヨガ、親子ピクス、リトミック体験、ママカフェ（お茶会）
講師、 スタッフ	<p>講師：寺本久美子（ヨガ講師、当法人会員）、 柿本京子（エアロビクスインストラクター） 加藤美穂（リトミック講師）</p> <p>スタッフ：戸谷令子（会員）他ボランティア20名 / 水野真由美（理事長） 公式LINE配信：牛田真登（学生会員）</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・通年で全94回開催。新規登録親子43組を含むのべ267組の親子が参加した。 ・人数制限を解除して、予約制にて開催。 ・2023年4月よりはじまった「キリン・地域のちから応援事業」では、通年で行ってきた親子ヨガに加えて、コロナ禍で開催を見合わせていたリトミックおよび、新たに親子ピクスを開催。 ・ひろば専用の公式LINEを活用。参加予約受け付けや利用者及びボランティアスタッフからの連絡手段などのコミュニケーションツールとして活用。 ・大和学区主任児童委員さんとの連携し、生後2か月～4か月の赤ちゃん訪問時にひろばをご紹介いただき、特に転勤でこの地にはじめて引っ越して来られた0歳児を持つ利用者への周知にご協力いただいていた。 ・会員企業の愛知産業株式会社様より七夕飾り用の「笹」をご提供いただき、コロナで中止していた「七夕飾り」を行った。
成果と 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年秋以降、利用者の再就職や転勤などで、利用者数の減少が著しく見られる。コロナ感染が落ち着いてきて、乳幼児親子の行き先が増えてきたことも考えられる。 ・ボランティア募集サイトActivoを活用し、ひろばボランティアを通年で募集した。大学生・社会人・高校生らの希望者が集まり、約25名のボランティアに登録していただいているが、3月末で、卒業や就職などの理由で、多くの若者がひろばボランティアを卒業。継続して関われる新しいボランティア募集を継続的に行う必要がある。 ・利用申し込みが全く無い日のボランティアの配置に課題が残る。

事業名	ほうかご子まち事業
	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業（2023年11月～2024年4月） ・アイシンググループNPO活動応援基金事業（2023年4月～2023年10月）

事業目的	学齢期（主に大和学区）の子どもたちの、下校後の居場所事業。既存の学童やトワイライトスクールとは違う第3の居場所づくり、仲間づくりなどをサポート。
実施期間	<p>●自主事業 期間：2023年5月～2024年4月まで 毎週金曜日、下校後～17:00に開催。</p> <p>●アイシングループNPO活動応援基金事業 期間：2023年4月1日～2023年10月31日 毎週金曜日、下校後～17:00に開催。 会場備品の購入費用（折り畳み机、ひろば前ベンチ、ボードゲーム、タブレット等）及び、スタッフ謝金に充当。 いずれも、小学校低学年（1年～3年）4～6名が利用</p>
スタッフ	スタッフ：秋好眞澄（ひろばスタッフ）他ボランティア2名 水野真由美（理事長）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、利用児童のニーズを探りながら、子どもたちにとっての居心地の良い居場所づくりを模索した。 ・2023年4月より、アイシン助成を活用して毎週金曜日に開催。 ・学校の宿題、折り紙やボードゲームなどの自由あそび。何もしなくても良い空間づくりを意識して開催した。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き利用者の拡大を図るものの、児童数が増えた場合の安全面にも課題が残る。 ・学校の宿題がタブレットで出される場合が増えてきており、現状ではタブレットの宿題はできない状況。ビジター用のWiFi環境整備も検討が必要。 ・2024年6月より有料化を検討中。ボランティア1名でほぼ回しているが、今後利用者数が増えた場合の運営方法にも課題が残る。

事業名	子育てネットワーク千種 ミニ子育て広場
主催	子育てネットワークちくさ（事務局：千種区民生子ども課）
事業目的	区内の子育て支援関係機関等がネットワークを構築し子育て家庭への情報提供・相談の場、交流の場を作って子育てに喜びが感じられる地域社会への転換を目指す（規約より抜粋）
実施期間・会場	（参加）6月13日、7月11日、9月21日、10月18日、11月14日、12月12日 （会場）千種児童館、千種スポーツセンター、東スポーツセンター、千種座
事業内容	会場内にブース出展し、手作りおもちゃなどを紹介。ひろばPRも行う。
担当	水野真由美（理事長）、戸谷令子（会員）、秋好眞澄（ひろばスタッフ）

事業名	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン
主催	イオンリテール株式会社、マックスバリュ東海株式会社
事業目的	イオンが地域への社会貢献活動をおこなう「イオン・デー」（毎月 11 日に開催）に、地域で活躍されている「ボランティア団体」などに対して、地域のお客様とともに応援し、イオンがその活動に役立つように物品をもって助成する（キャンペーンの趣旨・目的より抜粋）。 各店舗のお客様より善意で投函された黄色いレシートの合計金額の 1%相当を団体活動に必要な商品に交換、贈呈する。
実施期間・会場	（キャンペーン参加） 2023 年 7 月 11 日、9 月 11 日、11 月 11 日、12 月 11 日、2024 年 1 月 11 日、2 月 11 日、4 月 11 日
事業内容	（店頭キャンペーン活動） イオンスタイルナゴヤドーム前店にて、店頭キャンペーン活動に参加。1 階食品レジ横にて団体 PR とレシート投函を呼びかけた。
担当	水野真由美（理事長）、戸谷令子（会員）、水野千鶴（会員）、水野紗代（ほうかごスタッフ）
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・店頭キャンペーンに立つことで、地域の買い物客とのコミュニケーションが生まれ、レシートの金額に応じた寄付がいただけた。 ・店頭キャンペーンは毎月 30 分間だけであるため、キャンペーンに立つボランティアの手配に課題が残る。 ・2024 年より、登録が 1 団体 1 店舗となったため、ボックスを設置させていただく店舗が、イオンスタイルナゴヤドーム前店のみとなった。

その他の団体との連携、ネットワークづくり

愛知県青少年育成県民会議
子育てひろば全国連絡協議会
NPO 法人子ども健康フォーラム
広げよう！子どもの権利条約キャンペーン

[4] [1]から[3]に関する研修・養成等企画運営事業

2023 年度は研修事業を実施しませんでした。講師派遣依頼も、ありませんでした。

成果と課題	助成金等資金獲得が叶わず、自主でも STEP 研修を行うことができなかった。「性と生」に関する研修や勉強会の問合せは数件いただくなど、関係機関からのニーズは一定数あると考えられる。自主（または助成事業）で研修を計画的に継続開催していくことに、課題が残った。
-------	--

3. 会議の開催に関する事項

(1) 総会

1. 開催日および場所

日時：2022年（令和4年）6月25日（日）14時00分～16時00分

場所：子ども&まちネットひろばスペース及びオンライン会議室システム zoom

2. 議題

第1号議案：2022年度事業報告の承認について

第2号議案：2022年度事業決算の承認について

第3号議案：2023年度事業計画の議決について

第4号議案：2023年度予算計画の議決について

3. 報告事項

なし

(2) 理事会

第1回 理事会

1. 開催日および場所

日時：2023年6月25日（日）13時00分～14時00分

場所：子ども&まちネットひろばスペース及びオンライン会議システム zoom

2. 審議事項

- ・2022年事業報告および決算報告について
- ・2023年計画および予算について
- ・守山事業計画について

第2回 理事会

1. 開催日および場所

日時：2024年4月5日（金）19時00分～21時00分

場所：子ども&まちネットひろばスペース及びオンライン会議システム zoom

2. 審議事項

- ・事業現況報告
- ・次年度見通しについて
- ・役員改選について
- ・定款変更について